

地域貢献 WG

佐藤卓治

I 活動の概要

本年度の地域貢献ワーキンググループ（以下 WG）は、次の 2 項目について活動を行った。

- (1) パソコンを組み立ててみよう講習会
- (2) 大学開放イベントへの参加

なお、昨年度まで 3 月に開催されていた子供イベントは、本年度からは、大学開放イベントに併合された。

II 活動に際し注意を払った点

1) パソコンを組み立ててみよう講習会に関して、

パソコンを組み立ててみよう講習会は通年で複数回行われるため、講習指導スタッフの長期業務依頼支援先業務との兼ね合い、多数の学生参加者を募るためのスケジュール調整、等の問題があった。

このため、事前に次のような計画を立てた。

- ・長期業務依頼支援先の業務の妨げとならぬよう、講習回数の制限をした。
- ・学生の参加スケジュールが立て易いように、夏期休暇中等、長期の休みにある程度講習開催を集中させ、複数回の開催予定をポスター等で明示するようにした。

2) イベント参加に関して

2)-1 イベント用補助学生の動員

例年、地域貢献 WG の技術職員は、長期業務依頼派遣先部署のイベント参加との兼ね合いで、イベント当日は技術部の企画に参加できないメンバーが多く、人員不足気味であった。

そのため、これまではイベント当日に派遣先における支援予定の無い技術職員の中から応援参加を依頼していた。

本年度は、大学開放イベントにおいて補助学生を雇用することが可能となり、これを利用して、5 名の学生をスタッフに編入した。

これにより、イベント当日地域貢献 WG メンバー以外からの応援動員は不要となった。

2)-2 工作に関する安全性の検討

イベントに関して、現在、対象者を小、中学生以下と考えている。よって工作中的の事故防止等、安全対策には万全の注意を払って取り組んでいる。たとえば

- ・工作には原則として参加者が刃物を扱う必要が無いように、予め下準備をする。

以上、考えられる事態に対し、対応策を講じた。

III 活動の実行と結果

各活動の実行指導者は次の通りである。

- ・(1) パソコンを組み立ててみよう講習会；西村電気電子工学系前任技術専門職員
- ・(2) 開放イベント；赤峰電気電子工学系第 1 技術班長、

以上 2 名が、夫々実行リーダーとしてスタッフを指揮し、地域貢献 WG 活動を行った結果、(1) のパソコンを組み立ててみよう講習会は、学科との業務上のトラブルも無く、教員を含む参加者から

好評を得た。また、(2)の開放イベントは事故も無く、集まった多数の参加者の好評の中、無事終了することが出来た。

IV 活動の詳細

詳細は、下記のページに記載している。

○イベント報告

- ・大分大学学内イベント

○技術講習会

- ・パソコンを組み立ててみよう